

非常呼び出し装置の開発

早期故障復旧体制の確立

夜間休日等の配電線故障発生時には、復旧要員を速やかに確保することが早期復旧面で必要不可欠である。そのため必要要員を速やかに呼び出し、その出社状況を自動的に把握できる装置を、制御通信部と共同で開発した。これはパソコンを主装置としてNTT回線と接続することにより、呼び出し人数を設定するだけで自動的に呼び出しを行うとともに、出社可否の状況を画面に表示する。

1 | 呼び出し時間の迅速化

夜間あるいは休日における配電線停止などの非常時の場合、復旧要員は、電話によって呼び出している。特に、電源側故障・大規模襲雷時など多人数の動員を必要とする場合には、出社確認、不在者への電話の繰り返し等に長時間かつ多人数を要している。

今回開発した非常呼び出し装置を、北・熱田営業所で試行した結果、第2図のとおり多人数の呼び出しを行っても20分程度で完了でき、早期に復旧体制を確立することができることを確認した。

2 | 呼び出しに対する返答

この装置は、職種別の呼び出し人数（営業受付を含む）を設定するか、動員区分（警戒・第1・第2）の選択をすることにより、自動的に呼び出しを開始する。

呼び出しを受けた受信者はあらかじめ録音された何種類かのテープ音声の指示により、出社の可否を返信する。

返信の方法は、プッシュホン式電話の場合にはプッシュホンのキーにより、ダイヤル式電話の場合には第1図のように、コマンドと称する付加装置を使用して返信する。

3 | CRT 表示

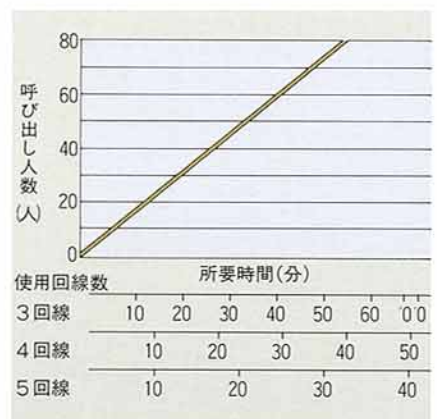
呼び出しにあたっては、本人が不在の場合や出社できない場合には必要要員が確保されるまで、呼び出しを自動継続する機能を有しており、呼び出し途中の状況を第3図に示すCRT画面により確認することができる。

また、出社した場合は会社に備え付けてあるカードで各人が入力することにより、出社状況を個人別に把握することができる。

4 | 導入計画

今回の開発をもとに、63年度から順次各営業所にこの装置の導入を予定しており、一層の早期故障復旧に役立つものと期待される。

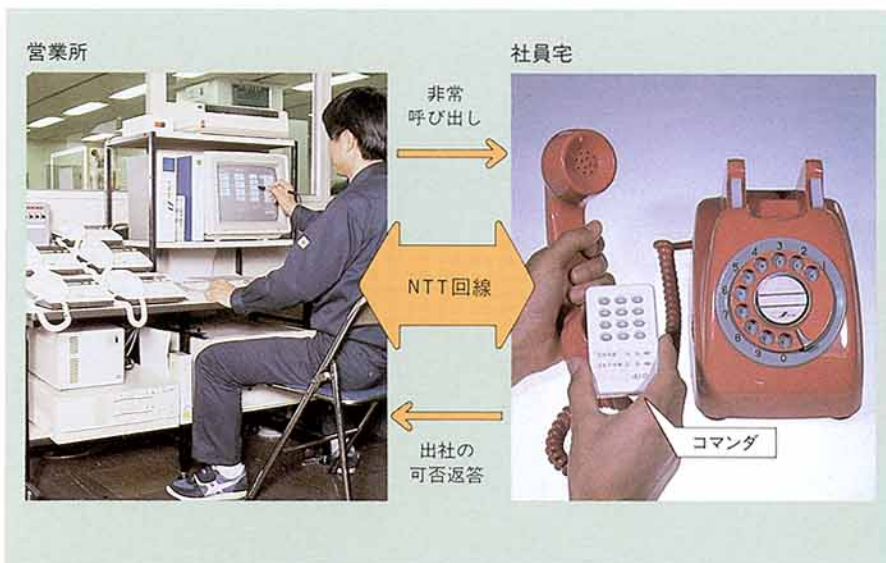
(配電部 配電運営課)



第2図 呼び出し所要時間



第3図 呼び出し動作中画面



第1図 呼び出し操作と出社可否のインプット